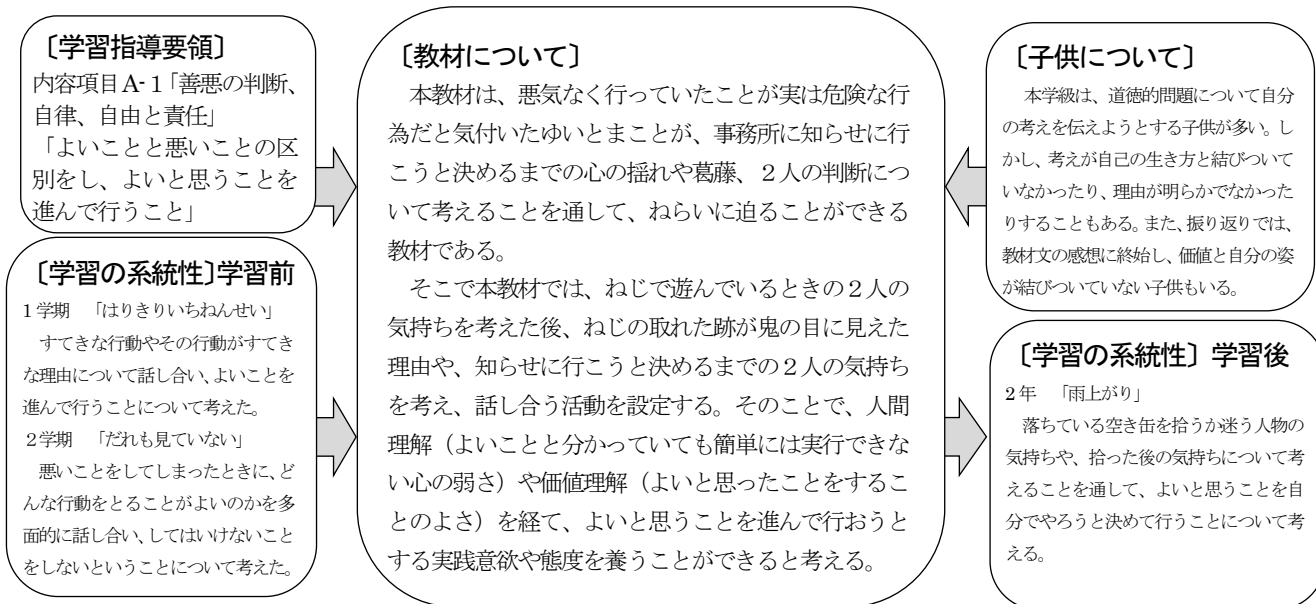


第1学年 特別の教科道徳学習指導案

日時 令和7年2月15日(土) 2校時
 場所 1年3組教室
 児童 男22名 女14名 計36名
 指導者 佐々木 香澄

1 単元(ユニット)名 「お手本の2年生になるために」
 主題名 「よく かんがえて」 教材名 「学校のかえりみち」 A-1 善悪の判断、自律、自由と責任

2 指導構想

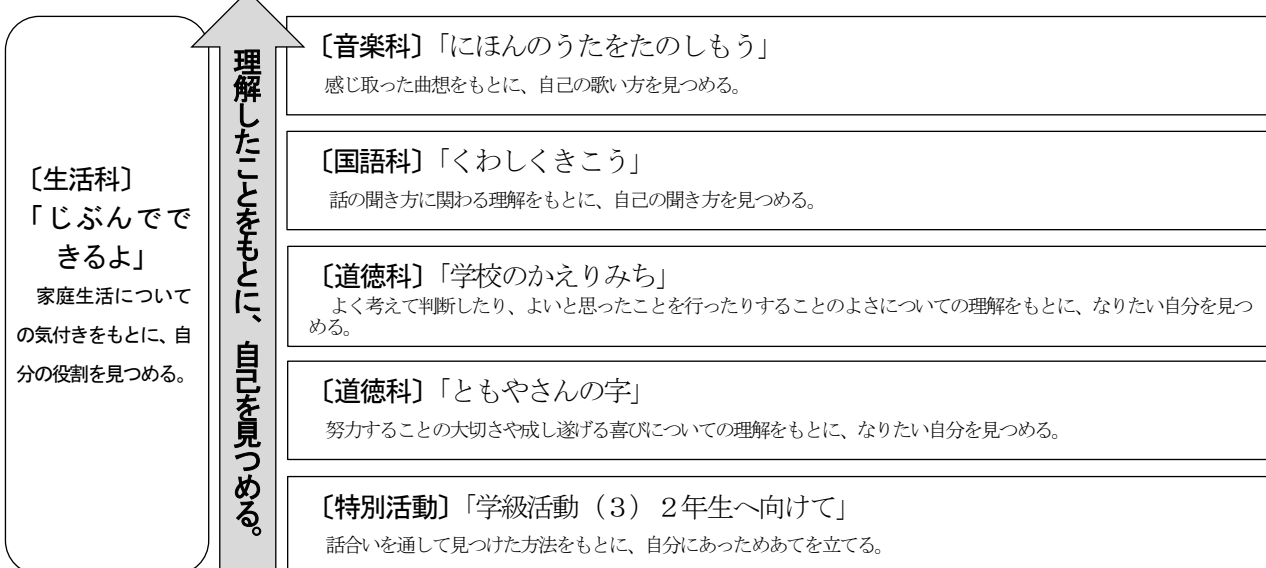


3 指導にあたって

視点1 資質・能力を育むためのカリキュラム・デザイン

<道徳科の学習過程における深い学びの姿>
 努力することの大切さや、よく考えて判断したり、よいと思ったことを行ったりすることのよさについての理解と自己の姿を関連付け、お手本の2年生の姿について考えている姿

<育みたい資質・能力> 多面的思考力→論理的思考力
 「考えるための技法」を使って、課題を解決したり、自分なりの考えを生んだりする力



視点2 深い学びの実現に向かう探究的な学びの過程

- ・ 子供が道徳的課題を自分事として捉え、2年生進級への思いをもって学習に取り組むことができるように、3学期になりたい自分について問う。そして、教師は子供が見いだした課題や目標から、学習テーマ「お手本の2年生になるために」を設定する。【探】
- ・ 教師は、学習テーマに関わって子供がより伸ばしたいと考えていたり、課題だと感じていたりする内容項目の道徳教材、学級活動をつなぎ、小単元（ユニット）をつくる。【探】
- ・ 子供が教材や学習を通して学んだことをもとに、自己の生き方を考えることができるように、単位時間の学習後に、学んだことや考えたことを整理する活動を設定する。また、単元の学習後に、単元を通して何を学んだのかを自覚することができるように、単位時間ごとの振り返りを読み返し、テーマについて学んだことや考えたことをまとめるよう促す。【個】
- ・ 他者の考え方に接し、多面的・多角的な見方で考え、自己の考えを広げたり、深めたりすることができるように、小単元の学習後に、お手本の2年生になるために大切だと思ったことを他者と交流する活動を位置付ける。その中で、自己の考えと他者の考えの比較を促したり、考えの理由を問い返したりする。【協】

視点3 単位時間の考える活動の充実

- ・ 善悪の判断に関わる自己の価値基準を自覚するとともに、よいと思っているのにできないことがあると気付くことができるように、導入で不注意で物を壊してしまったとき、どんな行動をとるとよいかを問い、自分自身が迷わずその行動をとれると思うかを問う。【個】
- ・ 心の葛藤を乗り越え知らせに行こうと決めるまでの過程を、自己の経験をもとに登場人物の気持ちを考えることを通して、考えを深めることができるように、知らせに行こうと決めるまでのゆいとまことの気持ちや2人の判断のよさを問う。また、話し合いの中で、他者の考えと自分の考えの比較を促す発問をしたり、他者の考えをもとに経験や考えの意味を問うたりする。【協】
- ・ よく考えて判断したり、よいと思ったことを行ったりするよさについて、自分との関わりで考えることができるように、教材文を通して理解したことをもとに、自己を見つめてみるよう促したり、「学んだこと、考えたこと」「自分のこと」という観点で、本時の学習を振り返る場活動を設定し、その考えの理由を問い返したりする。【個】

4 小単元（ユニット）の学びの過程

段階	学習活動	指導上の主な手立て
事前	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3学期になりたい自分について考える。 ・ 学習テーマ「お手本の2年生になるために」を設定する。 ・ お手本の2年生になるために大切だと思うことを考え、伸ばしたいところや課題だと感じていることを交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2年生進級への思いをもって学習に取り組むことができるように、3学期になりたい自分について問う。 ・ 学習テーマを自分事として捉えることができるように、お手本の2年生になるために大切だと思うことを問い、子供がより伸ばしたいと考えていたり、課題だと感じていたりしている内容項目の道徳教材と学級活動をつないで、小単元をつくる。
第1時	道徳「ともやさんの字」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教材を通して、自分のやるべきことをやることや努力することの大切さについて考える。 A-5 希望と勇氣、努力と強い意志	<ul style="list-style-type: none"> ・ 価値に関わるともやの気持ちや行動の理由を自己の経験をもとに考えることを通して、自己の考えを深めることができるように、ともやの気持ちについて話し合う活動を設定し、前半と後半のともやの気持ちの比較を促したり、なぜ気持ちが変わったと思うか理由を問うたりする。
第2時	道徳「学校のかえりみち」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教材を通して、よいと思うことを進んで行うことについて考える。 A-1 善悪の判断、自律、自由と責任	(本時の展開参照)
第3時	学級活動（3）「2年生へむけて」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2年生へ向けて、頑張ることや取り組むことを決める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ になりたい自分に向けて、実践方法を具体的に意思決定することができるように、話し合いで出た解決方法となりたい自分を関連付けて実践方法を決めるよう促す。
事後	<ul style="list-style-type: none"> ・ ユニットを通じた学びをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 何を学んだのかを自覚することができるように、単位時間ごとの振り返りを読み返し、テーマについて学んだことや考えたことをまとめるよう促す。

5 本時の指導計画

(1) 目標

よいことか悪いことかをよく考え、自ら判断し、よいと思うことを進んで行おうとする態度を養う。

【道徳的実践意欲と態度】

(2) 展開

段階	主な学習活動・学習内容	教師の支援	資料等
問題の把握 (6分)	<p>1 絵を見て、問題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ どんな行動がよい行動だと思いますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 先生に伝える。 ○ あなたは、迷わず先生に伝えますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 伝える。 ・ 伝えない。 ・ 伝えた方がいいけれど言えないかも。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> よいとおもったことをするためには？ </div> <p>2 「学校のかえりみち」を読む。</p>	<p>手立て①個別最適な学び 善悪の判断に関わる自己の価値基準を自覚するとともに、よいと思っているのにできないことがあると気付くことができるように、以下の支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の不注意で物を壊してしまったときどんな行動をとるとよいかを問う。 ・ 自分自身は迷わずよいと思う行動をとれると思うかを問う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵
道徳的価値の追求・主体化 (30分)	<p>3 教材をもとに話し合い、価値について考える。</p> <p>(1) ねじで遊んでいるときのゆいとまことの気持ちを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 遊んでいるとき、2人はどのような気持ちだったと思いますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 楽しいな。 ・ 面白いな。 (2) 危険な行為だと気付いたときのゆいとまことの気持ちを考える。 ○ ねじのとれた跡が鬼の目に見えたのはどうしてだと思いますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 怒られると思ったから。 ・ よくないことをしてしまったと気付いたから。 (3) 知らせに行こうと決めるまでのゆいとまことの気持ちを考える。 ◎ 知らせに行こうと決めるまで、2人はどんなことを考えていたと思いますか。また、決めて事務所に走って行くときどんな気持ちだったでしょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 知らせたらきつと怒られるよね。 ・ でもこのままだと大変なことに。 ・ 怪我をしないように直してもらおう。 ・ 黙って帰るよりも気持ちがいい。 	<p>手立て②協働的な学び 心の葛藤を乗り越え知らせに行こうと決めるまでの過程を、自己の経験をもとに登場人物の気持ちを考えることを通して、考えを深めることができるように、以下の支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 知らせに行こうと決めるまでのゆいとまことの気持ちや知らせに行くという判断のよさを問う。 ・ (3) で他者の考えと自分の考えの比較を促す発問をする。(〇〇さんの考えをみなさんはどう思いますか) ・ (3) で他者の考えをもとに経験を問う。(どうして〇〇さんは知らせたくなかったのだらう) ・ (3) で他者の考えについてどう思うことかと思うかを問う。(このままにしたら大変とはどういうことだらう) ・ (3) で出た考えを、知らせた場合、知らせなかった場合の心配事を比較して板書し、それぞれ誰の立場で考えた心配事かを可視化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 場面絵 ・ 紙板書
終末 (9分)	<p>4 価値について自己との関わりで考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ゆいとまことのように、物を壊してしまったとき、どんな行動をとりますか。それは、なぜですか。 <p>5 本時の振り返りを書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> よいと思ったことをするためには、自分のことだけでなく、まわりの人のこともよく考えることが大切だと学びました。よく考えて、よいと思ったことをたくさんしたいなと思いました。 </div>	<p>手立て③個別最適な学び よく考えて判断したり、よいと思ったことを行ったりするよさについて、自分との関わりで考えることができるように、以下の支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 導入時に提示した絵を再提示し、行動の選択と、その理由を問う。 ・ 教材文を通して理解したことをもとに、自己を見つめてみるよう促す。 ・ 「学んだこと、考えたこと」「自分のこと」という観点で、本時の学習の振り返りを促し、考えの理由を問い返す。 <p>(見取りの視点) 善悪の判断や、よいことを進んで行うことについて、人間の弱さや周りへの影響を踏まえて考え、よく考えてよいと思うことを進んで行おうという思いをもっているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシート